

デゾレート®AZ粒剤

■種類名：塩素酸塩粒剤

■有効成分：塩素酸ナトリウム----- 50.0%

■化管法指定物質：塩素酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩 [第1種] --- 50.0%

■登録番号：第23761号(日本カリウム登録)

■毒性：医薬用外劇物

■登録初年：2016.01.06

■性状：類白色粒状

■有効年限：5年

■包装：5kg×4袋

【特長】

- 主として根から吸収されて雑草木を枯死させる緑地管理用除草剤。
- 株元スポット処理により、確実に効果を発揮できる。
- 水田刈跡処理により、次年度の耕起作業を軽減できる。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用場所	適用雑草木名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農薬の総使用回数		
開墾後に栽培する農作物等	開墾地			15~25kg/10a	-	全面均一散布	-		
						空中散布			
						無人航空機による散布			
まつ類 からまつ えぞまつ とどまつ	地ごしらえ	一年生及び多年生雑草 雑かん木 ササ類 ススキ	雑草生育期 (積雪時及び 土壌凍結時を除く)	15~25kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内		
						空中散布			
	無人航空機による散布								
	全面均一散布								
	下刈り		10~20kg/10a		空中散布				
					無人航空機による散布				
地ごしらえ 又は下刈り	ススキ	雑草生育期	30g/株径 20cm 60g/株径 30cm 85g/株径 40cm	1回	株処理				
ふな かんば	地ごしらえ	一年生及び多年生雑草 雑かん木 ササ類 ススキ	雑草生育期 (積雪時及び 土壌凍結時を除く)	15~25kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内 (全面土壌散布は1回以内、但し当該処理をする場合には雑草茎葉散布、全面均一散布、空中散布、無人航空機散布及び株処理は合計1回以内)		
						空中散布			
	下刈り					10~20kg/10a			無人航空機による散布
									全面均一散布
すぎ ひのき	地ごしらえ			15~25kg/10a	2回以内	全面均一散布	3回以内 (全面土壌散布は1回以内、但し当該処理をする場合には雑草茎葉散布、全面均一散布、空中散布、無人航空機散布及び株処理は合計1回以内)		
						空中散布			
						無人航空機による散布			
	下刈り		10~20kg/10a			全面均一散布			
						無人航空機による散布			
地ごしらえ 又は下刈り	ススキ	雑草生育期	30g/株径 20cm 60g/株径 30cm 85g/株径 40cm	1回	株処理				

作物名	適用場所	適用 雑草木名	使用時期	使用量	本剤の 使用 回数	使用方法	塩素酸塩を 含む農薬の 総使用回数
樹木等	公園、堤とう 駐車場、道路 運動場、宅地 のり面等	一年生及び 多年生雑草	雑草生育 初期～中期	15～25kg/10a	3回 以内	植栽地を除く 樹木等の周辺 地に雑草茎葉 散布	3回以内 (全面土壌散布 は1回以内、但 し当該処理をす る場合には雑草 茎葉散布は1回 以内)
		竹類	生育期	45～60kg/10a	1回	植栽地を除く 樹木等の周辺 地に全面土壌 散布	
水稲 (水稲刈取跡)	水稲刈取跡	一年生雑草 及び多年生 イネ科雑草	水稲刈取後 (秋期雑草 生育期)	20～25kg/10a	—	水稲刈取跡に 全面土壌散布	—
		セリ		20～40kg/10a			
		オモダカ		30～40kg/10a			
水稲 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草 及び多年生 広葉雑草	水稲刈取後 雑草生育期	20～40kg/10a	—	全面土壌散布	—
水田作物、 畑作物 (休耕田)	休耕田	一年生雑草	雑草生育期	30～60kg/10a			
		多年生雑草		40～60kg/10a			

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせて秤量し、使いきること。
- 本剤は主として根から吸収されて雑草木を枯死させる除草剤で、ススキを抑制、枯殺するには株元やその周辺にスポット散布すること。
- 雑かん木、ススキ、一年生及び多年生雑草防除に使用する場合は、対象雑草木が萌芽し、新葉が展葉をはじめた時期に散布すること。
- 本剤の散布適期は以下のとおりであるため、時期を失しないように散布すること。
 - ◆ 水稲（水田畦畔）に使用する場合、一年生雑草は草丈20cm以下、多年生広葉雑草は草丈30cm以下
 - ◆ 水田作物、畑作物（休耕田）に使用する場合、一年生雑草及び多年生雑草は草丈50cm以下
 - ◆ ススキの株処理に使用する場合、草丈20cm以下
- 地ごしらえの場合は、手まき、手動または、風速の大きい動力散布機で地ごしらえ地全面にまき残しのないように散布すること。
- 下刈りの場合は、風速を小さくした動力散布機で茎葉または土壌表面に均一に散布すること。
- 本剤は、空中散布の場合、ヘリコプター用微粒剤散布装置によって散布すること。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - ◆ 散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ◆ 散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意すること。
 - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
 - ◆ 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整すること。
- 降雨時の散布または降雨の予想される時の散布は、効果を減るので散布を見合わせること。
- 下刈りの場合、降雨時または降雨後など、植栽木の茎葉がぬれている時の散布は、薬害を生じるおそれがあるので、植栽木をさけて散布すること。
- 開こん地、または林地の地ごしらえに使用した場合、散布後3ヶ月以内は樹木の植付、は種などはしないこと。
- 下刈りに使用する場合、植付当年の使用はしないこと。
- 本剤を水稲刈取跡に使用する場合には次の事項に注意すること
 - ◆ 本剤は一年生雑草および多年生イネ科雑草防除を目的として使用し、多年生イネ科雑草を除くウリカワ、ミズガヤツリなどの多年生雑草には効果が期待できないので注意すること。
 - ◆ 一年生雑草および多年生イネ科雑草防除に使用する場合は、水稲刈取後、秋期雑草生育期に使用すること。
 - ◆ オモダカに使用する場合は、水稲刈取後できるだけ早く使用すること。
 - ◆ 本剤は排水良好な一毛作田で使用し、散布前に落水し、全面に均一に散布すること。
 - ◆ 本剤の連用はさけること。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木類等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しないこと。また、樹木類等有用植物の根が分布していると思われるところでは使用をさけること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 本剤は従来品に比べて難燃性に製剤してあるが、散布前後には散布機をよく清掃して油や汚れを拭き取ること。
- 散布時本剤が身体や作業衣に付着の少ないよう風向等に注意し、散布したところを歩かないこと。

- 本剤のしみこんだ作業衣は、火気に対して燃えにくくなっているが、作業後水洗いすること。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。

【安全使用上の注意】

- ❖ 医薬用外劇物。取り扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けること。
- ❖ 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを使用すること。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼すること。
- ❖ 公園、堤とう等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 本剤は家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので保管に注意し、また使用直後の散布区域への家畜の放飼は行わないこと。
- ❖ 使用残りの薬剤は必ず鍵のかかる安全な場所に保管すること。
- ❖ 保管：直射日光の当たらない鍵のかかる低温で乾燥した場所に密封して保管すること。